4年

国語　詩を書いて伝えよう

4年　　組

名前

1 詩を書くことについて話しています。（　）に当てはまる言葉を□から選んで書きましょう。

詩は（　　）ことや想ぞうしたことなどを言葉や（　　）を短く（　　）表げんするものです。

いちばん（　　）ことを中心に（　　）を広げて、（　　）を書き出して詩を書きます。

伝えたいことに（　　）言葉かどうかを（　　）て、言葉と言葉を（　　）たり、言葉の（　　）を工夫（くふう）したりして、表げんを整えます。

同じ言葉は一度しか使えないよ。

組み合わせ・伝えたい・感じた・順じょ・文連想・合う・連ねて・見直し・言葉

2 慣用句（かんくく）とその意味を線で結びましょう。

①かたを持つ　●　●いろいろと考える。
②頭をひねる　●　●味方をする。
③図にのる　●　●することがたいへんだ。
④ほねが折れる　●　●調子にのってつけ上がる。

3 調べて話すときに使う資料（しりょう）とその特ちょうを線で結びましょう。

①実物や写真　●　●数量の変化が見やすい。
②ぼうグラフ　●　●具体的な数字が読み取れる。
③折れ線グラフ　●　●形や様子がわかりやすい。
④表　●　●数量をくらべやすい。

4 二つの漢字に共通する部首を見つけて、例のように部首名と二つの漢字を書きましょう。

（例）きへん（札・松）

札　松　完　説

満　投　仲　浴　積

側　議　種　折　害

□（・）□（・）
□（・）□（・）
□（・）□（・）

小学館「みんなの教育技術」（https://kyoiku.sho.jp/）　イラスト／嵩瀬ひろし